

ID:L-EN0005

データ収集日:2024年2月16日

聞いた素材:模擬授業 哲学専攻「木がみどりに見えるのは、木がみどりだからだ、は本当か」(黒崎政男, 東京女子大学, 2021)

<https://www.youtube.com/watch?v=Qs8KN2eEMEM>

行番号	聞いた素材	協力者の発話内容		データ収集者の発話内容	備考
		発話	日本語訳		
1	みなさんこんにちは。	Hello, everybody.	みなさん、こんにちは。		
2	えー、東京女子大学哲学専攻の黒崎と言います。	I'm Kurosaki, from errr, Tokyo Women's College.	えー、東京女子大学の黒崎です。		
3	えーと今日は、えー哲学、えー、	Errr, he was talking about something related to テツガキ? I'm not sure what it is.	えー、彼は「テツガキ」?に関連するなにかを話していました。「テツガキ」がなにを意味するかはわかりませんが。		協力者の発話のテツガキは哲学のことを指していると思われる。以下同様。
4	とはどんなものか、つていうのをちょっと実例を、えー交えながらお話をしたいと思います。	Ahhhh, he is trying to explain what テツガ ah, ガキ means. uhmmm, so the talk will be related to what this テツガ, ガキ in Japanese it is .	えー、彼は「テツガ、ガキ」がなにを意味するかを説明しようとしています。えー、ですから講義は日本語の「テツガ、ガキ」と関係があると思います。		
5				説明するときはどういうふうに説明すると言っていましたか。	
6		No, according to what I understood, the entire talk will be errr, about how, what テツガキ means so he hasn't explained it yet.	いいえ、私が理解したところでは、講義全体が、えー、「テツガキ」がどのよう、なにを意味するかについてであるということなので、彼はまだそのことについて説明していません。		
7				どのように説明するかも話していないですか。	
8		Uhhh,according to what I h,heard, he didn't say such a thing so I don't think that he mentioned any specific method that he will um ex,explain this.	えー、私が聞いたところによれば、そのようなことは言っていないので、彼がこのことをえー、説、説明をする特定の方法については言及していないと思います。		
9	えー題名はですね、木がみどりに見えるのは、木がみどりだからだは本当か	So the theme or the topic ah of today's errr, talk errr, is errrr in the screen as, errr, 木がみどりに見えるのは、that is related to why the trees are seen as green, errrr,is the trees are green, something like that.	えー、今日のテーマまたはトピックは、えー、スクリーンにあるように、えー、「木がみどりに見えるのは」、これは木がみどりとして見られているのは木がみどりだからであるに関連していますが、そのようなことです。		
10	つていう、えっ本当、本当に決まってるんじゃないか、木がみどりに見えるのは、木がみどりだからだ、は本当に決まってる、なにを言いだすのって感じな、かもしれませんけどですね、	Errrr, he is errrr, saying like it is obvious that everybody might think that the trees are green because the tree is green so it's obvious, so he is uhm asking the audience like what what he is ah he going to say like because like something obvious is gonna be talked about now.	えー、彼は、えー、皆が木はみどりであるから木はみどりであると考えられるかもしれないということは明白だと言っています。ですからそれは明白です。それで彼はえー、これから自分が話すことを聴衆に問いかけしています。なぜなら明らかであるなにかが今話されるからです。		

11				明らかだというのは、先生自身が思っていることです。	
12		Ahh, yes. Not only the professor I think that everybody who reads that sentence on the screen might think that it's obvious because trees are green, and it's because the tree is green, so he himself and the audience know like it's errr, common sense to know that it's green. So it's [聞き取り不能].	あー、はい。先生だけでなく、このスクリーンの文を読んだ誰もがそれは明白であると思うかもしれないと思います。なぜなら木はみどりであるから、そしてそれは木がみどりである故であるからです。ですから彼自身そして聴衆は木はみどり色であることを知っていることはえー、常識であると知っています。ですからそれは[聞き取り不能]。		
13	実は、これわたくしが今から、えー10分くらいもうお話しすると、えー、あ、本当じゃないって、あの、わか、わかると思いますがけれども、	Ah, he says he is going to be talking for about ten minutes and during the ten minutes, err, the audience errr, will understand that the thing that was written on the board as we thought that it's obvious is not going to be the truth anymore.	えー、彼は約10分間話をすると言っています。そしてその10分の間に、えー、聴衆は、えー、私たちが明らかだと思っていたボードに書かれていたことが、もはや真実ではないということを理解する、と言っています。		
14				先生は、なにが真実ではないと理解すると言っているんですか。	
15		Yeah, errr, at first, he gave the theme as trees are green because the tree is green, errr, so it was the theme and he said, like during the ten minutes, he will explain why it is not so. So the theme is the main topic here so we are going to talk about that, ah he is going to talk about that. So that is not going to be obvious anymore.	はい、えー、まず、彼は木はみどりだから木はみどりであるというテーマを示しました。えー、ですから、それがテーマであり、彼は10分の間に、それがなぜそうでないのかを説明すると言っています。ですからこのテーマが主なトピックであり、これから私たちはこのことについて話します、いえ、彼はこのことについて話します。ですから、それはもう明らかではなくなります。		
16	これがあの哲学的なものを、なんかこう、当たり前と思ってること、あの疑ってみるっていうか、じっくり考えなおしてみるっていうことの、まあいいヒントになりますので、	So, he he says that so it will be something like a hint to rethink errr, about what we have err, like thought so far about some things, errrr, like we may have thought this thing is obvious to think like that but it is not so. So, according to his talk here, he is going to say that umh, we may change the theme, ah, the way we think, after this talk.	えー、彼は、えー、私たちが今まであることについて、えー、あることをこのように考えることは明白だと思っていたかもしれないことがそうではないということ再考するヒントのようなものになると言っています。ですから、この部分での彼の発言によれば、彼はこれから、えー、この講義のあと、私たちがテーマ、あつ、考えかたを変えるかもしれないということ話をします。		
17				最初言っていたテツガキという言葉の意味が、今わかっていたら教えてください。	
18		Errr, alright, so I didn't know the meaning of that word テツガキ, but according to what he said now, and what he is going to talk about now, I, I can err, assume that テツガキ means, it is not the ummm, it is something the hidden meaning or like we can rethink about some things? that we have err, like known for several, errr, like a period of time, in err wrong manner? So, テツガキ could be, I'm not sure but according to what he is going to talk, we can say the things that we are going to learn errr, that we were like we already had learnt in the wrong way?	えーはい。私はこの「テツガキ」という言葉の意味を知りませんでした。しかし、今彼が言ったこと、そしてこれから話すことによれば、えー、「テツガキ」というのは、なにか隠された意味がない、えーあるもの、というか、なにかについて再考できるもの？えーそれは私たちが、いくらかの…えーある一定期間、間違っって考えてしまっていたこと？ですから、「テツガキ」は、えー、わかりませんが、えー、これから彼が話すことによれば、私たちがこれから知ることは、えー、私たちがすでに間違っって学んでいることといえます。		
19	ちょっとこの問題を考えてみたいと思います。みなさんもちろん木がみどりに見えるのは木がみどりだからだと思ってますよね。	So, he is going to talk about err, an issue, errr, about how people have understood and that understanding is not the right thing? Errr, and, like he is asking the audience, err, whether they also have thought that trees are green because it is green so he is asking, uh, giving them a question.	えー、彼は人々が理解してきたことが正しいことではないという問題について話をします。えー、そして、彼は聴衆に対して木はみどりだから木はみどりであるとも考えていたかどうかを問いています。ですから彼は問いかけている、つまり彼らに質問をしています。		
20	思ってますよね。あの木がみどりに見えるのは、木が黄色じゃないからみどりに見えると、まあ当然、あのだれでも思っって、これ当たり前だと、	Errr, he, he errr he's like um, he's reassuring err with the audience that like, even the audience might have think, er, like thought that trees are not green? Errr, trees are not yellow? So, it is green, something like that.	えー、彼は、えー彼はなんというか、えー、聴衆に再確認しています。木はみどりではない、えー、木は黄色ではない？だからみどりである、そのようなことを、です。		
21	まあ哲学っていうのは今も言ったように、当たり前と思っっていることも疑ってみるっていうふうなことですけども、	So, here he says テツガキ means, err, like we have, we might have thought of something in a way but it is not the exact way that we have already known, so テツガキ now I can say that テツガキ means errr, what we have known so far is not the exact or exact er, or correct thing that we have learnt, that could be something else, some meaning or some use err, into that word, mmm, known thing.	えー彼は、「テツガキ」の意味について、えー私たちはあることについてある見かたで考えていたかもしれないけれども、それは私たちが知っていたことについての正確な見かたではないと言っています。ですから、「テツガキ、テツガキ」の意味というのは、私たちがこれまで知っていたこと、学んできたことは正確または正しいのではなく、違うことなのかもしれない、知っていたことと違う意味、違う使いかた、言葉、そういう意味だと言えます。		

22	えーと、たとえばですね、私があ、えーまあもうこう、いろいろ疲れちゃったなあ、あのコロナのこともあって疲れた、あ、こう、あの高原に行こうか思ってますね、あの、犬を連れて静かな高原を散歩に行つたします。	So, he is er, thinking for a bit and he is giving an example. So during corona, he might have thought about err, having some greenary err, so he is err,taking his pet and going to a place where there is full of green? Greenary? Like, maybe a park? I assume it is a park. Because parks have so many plants there.	えー、彼は少し考えて例を出しました。えー、コロナ禍において、彼はみどりがあるところに、彼のペットを連れて、みどりがたくさんある？みどり豊かな？ところに行きたいと思ったかもしれません。うーん、たぶん公園？公園だと思うんですが、公園には植物がたくさんあるので。		
23				公園というのは、先生が話した日本語の音から推測しましたが、それとも文脈から推測しましたか。	
24		Ah, yeah,it's actually, err, the sound, normally, a park is 公園, but he used some word using, コー？I can't remember the word, so I think that it's something related to a park or some place like that. So, it, it was the sound which came to my mind that, in, so I thought that it might be some place related to a park?	あー、はい、実はえー、音からです。普通、公園は「公園」です。でも彼は「コー」という言葉を使いました。言葉がちよつと思いだせませんが、ですからその言葉は公園かそのような場所に関連したなにかだと思います。ですから、それ、それは音からそう思ったのですが、その中、えー、公園に関連するどこかなのかなと思いました。		
25	ちよつと女性の絵になってますけど、一応、あの私が行ったことになって。	So, he says that he went to err, that particular place with his er, dog but he is err, making sure that in the picture, it's a woman, but he says he went to err, the place with err, a dog, err, with his pet, so he may be like err, giving the audience the idea that he might, uh, he, he may not have found a proper picture but he is reassuring that it is me who went to that particular place with my pet.	えー、彼は言いました。えーある場所に犬と行きましたと。ただ、絵では女の人ですが、彼はえー、彼が犬と、えーペットと行ったことを確認しています。たぶん、えー、それは彼、彼は適切な写真を見つけないかったかもしれないけれども、この私がある場所にペットと行ったのだと再確認し、そういう考えを示すということです。		
26	そうするとですね、もう都会の喧騒とは違って、あー高原はとっても静かで、あー木がみどりでいいなあ、最高だなあと、こう、思うわけですよ。	Err, he is thinking and he said, err that コーゲン、I heard the word as コーゲン,err,is full of greenary and it is a calm place, err.	えー、彼は考えています。そして言いました。えー「コーゲン、コーゲン」というふうに聞こえたのですが、えー、は、みどりが豊かで、落ちついた場所で、えー。		
27				公園ではなかったということですか。	
28		Ah, yeah, the, the word I know for park is 公園, but here it's コーゲン、I think something, uh, place, with greenary, is there but I'm not sure that that it is the exact same word for park.	あー、はい。公園として私が知っていた単語は「公園」、でもここでは「コーゲン」です。これはなにか、どこかみどり豊かな場所だと思うのですが、公園とまったく同じ言葉なのは定かではありません。		
29	それでこの隣にいる、まあボチがなんかに、なあボチ、高原って、あのいいなあ、木が、みどりで、静かで最高だよあって言うと、なんかこのボチはですね、プー、プーとか言うんですよ。	Errr, he is talking about how err,his pet reacted when he said err,that the コーゲン is uh, full of greenary err, it is a place, like amazing err, amazing place err, 最高 means err.superb like err, err. so, but, when he said that, his dog starts to, not bark like, he is giving, uh, it is giving a weird noi,noise at him?	えー、彼は、ペットがどのように反応したかについて話しています。えー彼が「コーゲン」はみどり豊かである、えー、素晴らしい場所である、と言ったときにです。えー、「最高」というのは素晴らしいという意味で、えー、ですから、でも、彼がそれと言ったとき、犬は吠えるわけではないですけど、変な音を彼にむけて発した？		
30				先生は日本語で犬と言っていましたか。	
31		No, he didn't use the exact word as 犬, but he said ボチ, so I think ボチ is something related to pet, mainly for dogs.	いいえ、「犬」という言葉をそのまま使ったわけではありません。でも、「ボチ」と言いました。ですから、「ボチ」というのはペット、主に犬に関連するものだと思います。		
32				ボチという言葉の前に聞いたことがありましたか。	
33		Yes, I have heard, but I can't remember the context where I heard, but I somehow know that ボチ is something related to a pet.	はい、聞いたことがあります。どんな文脈で聞いたかは思い出せんが、でも、なぜだか「ボチ」はペットに関連するものだと知っています。		

34	で、え、なんでって言うとか、まあ本当はその犬と人間がしゃべれるかどうかはわかりませんが、しゃべれたとするとですね、あのポチはですね、えっ、木はみどりじゃない、ブー、灰色だ、とか言うんですよ。	Err, there is no particular way that humans and animals can talk err, at real time, err, like in reality but err when this professor said that the trees are green, the pet, the dog umm, is replying that no, it's not green, it is brown.	えー、人間と動物が話せるような特別な方法が今現在、というか現実にあるわけではないですが、えー、教授が木はみどりだと言ったとき、ペット、犬はえー、うーん、みどりじゃなくて茶色だよと返事をしました。		
35	はあ？とかって、えー、いうことになりますけどもですね、	Err, he is giving an onomatopoeia in Japanese like はあ？, is like confused? And questioning again? To what the pet that he was talking to?	えー、彼は日本語のオノマトペを使いました。「はあ？」というのは混乱している？そしてもう一度疑問を投げかけている？彼が話していた、なんでしょう、ペットに対して？		
36				先生はなにに混乱していたんだと思いますか。	
37		Err, because the pet was giving the answer as trees are brown, so he might hmm, be thinking why it is brown.	えー、ペットが木は茶色だという返答をしたので、彼はもしかして、うーん、なんで茶色なんだろうと考えたかもしれません。		
38	あの、我々あの、いろんな物事振動してますけども、えー、たとえばなんかこう振動してですね、ここはまったく振動してない場合、	He is using a word er, as シンドー、I really don't know what it is, and he is drawing, he drew a picture on the board and since I don't know the meaning of シンドー、I really can't understand the picture also, err, and he after drawing the picture, he says he want, he err, he, まったくわからない means I, I don't know, I don't know it at all.	彼はえー、「シンドー」という言葉を使いました。それがどういう意味なのか本当にわかりませんが、えー、彼はボードに絵を描いていました、描きました。そして私は「シンドー」の意味がわからないので、本当に絵も理解できないんですが、えー、彼は絵を描いたあと、彼は言いました、えー、「まったくわからない」、というのは、全然わからないという意味です。		
39	こっからなんか振動しはじめてですね、ここ20、1秒間に20回ぐらい振動すると、これが低音でブーンとかって。	He drew a, a line and wrote twenty, and he said 振動？ The, he used the word 振動 again, err, I think that 振動 means vibration? Because he drew something like that. And I think it is something related to vibration, err, and, he said that when it, err, when this 振動 occurs, the line err, in, twenty, number twenty is happening, like something happens to that line. I'm sorry [笑う] I don't know the word so I can't really express what it is but it's something related to vibration? When it vibrates, something happens.	彼は線、そして20と書きました。えー、「振動」と言ったのでしょうか。それ、えー、「振動」という言葉をもう一度使いました。えー、「振動」は振動の意味だと思っています。なぜかという彼はそのようなことを描いたからです。それは振動に関連するものだと思います。えー、そして彼は言いました、それ、えー、この「振動」というのが起こるとき、線、えー20という数字が生じる、なんというかこの線になにかが起こる。ごめんなさい[笑う]、言葉がわからないので、これがなんなのか本当に表現できないのですが、振動に関連するなにか？振動があったとき、なにかが起こります。		
40				なにが20なのか、もし推測できたら教えてください。	
41		No, I, I don't have any idea so.	いいえ、なにも浮かばないので。		
42	で、せ、あの、これ音だとするとですね、えー、それで、あの、NHKの時報、ポッポッポッポーとかいうのは、	Now I understand what it is related to, it is related to sound so he wrote Hz so it is also related to sound and vibration? Err, so he is going to talk about something heard, he saw in the in NHK channel.	えー今なにに関連しているかわかりました。それは音に関連しています。ですから彼はHzと書きました。ですから、音と振動に関連している？えー、彼はNHKのチャンネルで聞いた、見たことについて話します。		
43	440ヘルツ、ぐらい。それで人間はだいたい2万、2万ヘルツぐらいまでは音として聞こえるとか、まあこういうふうに、言われます。ここを人間は音として聞く。で、もうずっと上のほうに	He says that for humans the, mmm, sounds that a human can generate and hear err, is up to twenty thousand Hertz, so it starts from twenty Hertz to twenty thousand. So it is the, between err, the r, range gap, from twenty Hertz to twenty thousand Hertz. So, in between, he has written four hundred and forty but I couldn't err, hear what he said about four hundred and forty.	彼は言っています、人間にとって、その、えー、人間は、うーん、2万ヘルツまで生成し聞くことができると、えー、20ヘルツからはじまって、2万ヘルツまでです。ですから、20ヘルツから2万ヘルツの範囲の間です。その間に彼は440と書きましたが、440について彼がなにを言ったのかは聞き取れませんでした。		
44				もう一度聞きますが、一番上の2万のところはなんだと言っていましたか。	

45		Err, for humans, the sounds that they can hear or like um, the range which err, a huma, uh, human can, I don't know how to say that, err human can hear the sound, I think it's related to Hertz so err, humans can hear sounds up to twenty Hertz, so that is the maximum point, err, twenty thousand.	人間にとって聞き取れる音、というかえー人間、うーん人間が、なんといえはよいかわかりませんが、えー人間が聞こえる音の範囲、それがヘルツに関係していると思います。ですから、えー、人間は20ヘルツまで聞ける、だからそれが上限です。2万が。		
46	行きますとですね、ある、こう振動があつて、これがたとえばですけど、3700オングストロームから、たとえば8700オングストロームとか、ここを我々、なんか色として感じる、範囲なんですね。	Um, he, again gave two digits, err, three thousand seven hundred angstrom and eight thousand seven hundred angstrom, err, so he says that it is the range where we can see colors so it is related to colors here.	えー、彼はまたここで2つの数字を挙げました。3700オングストロームと8700オングストロームです。えー、そしてこれが私たちが色を見ることが出来る範囲であると彼は言っています。つまり、ここでの話は色に関連があります。		
47	で、えーと、この、あ、この、ここで言うと、木がみどりだって言うと、ウー、違う、木は灰色だってボチは吠えるわけです。で、この	So he, err, goes back to the board and he shows a picture and he says err, the dog says, err, his pet err, says that trees are not green but it's, it is emm, grey, 灰色 means grey.	えー、彼はボードに戻って絵を見せました。そして彼は、えー、犬は、えー、彼のペットは木はみどりじゃなくて、えー、うーん、灰色だと言いました。「灰色」というのは灰色の意味です。		
48	人間はここを、色として識別するんですけど、どうもその、	The humans err, she, he used the word called シキベツ I'm not sure about what it is, err, so he is reexplaining that for the colors, which err, human can see, is the range between seven thousand, uh, three thousand seven hundred to eight thousand seven hundred angstrom.	人間は、えー、彼は「シキベツ」という言葉を使いました。それがなんなのかわかりませんが、えーそして彼はそれについて再び説明しました。人間が見える色について、それは7000、いえ、3700オングストロームから8700オングストロームの間です。		
49	犬はですね、その一、こう広くなくてですね、こ、このぐらいしか見えならしい	So he is err, explaining about animal, err, dogs, so the dogs, err, according to what he said, the dog doesn't have a, a good er, like err, a big range, like humans do. So he has drawn a line between three thousand seven hundred to eight thousand seven hundred which is in between so half of the range which the humans have.	えー、彼は、えー、動物、えー、犬について説明しました。えー、犬は、えー、彼の言うところによれば、犬は人間のようにいい、えーなんというか広い範囲がありません。ですから彼は線を引きました。3700と8700の間に。その線は間にありますから、人間が持っている範囲の半分です。		
50	と言われている。たとえば牛もそうですけども、あの闘牛でこんなことをやって、あの赤いきれであの、あれは牛が興奮するんだって言うけど、どうも牛には灰色がなんかに、	So he is referring to a cow in bull fights like, they use a piece of clothing, err, a red clothing, err, but err, according to what the sensei, uh, the professor says, err, he says err, but the cow see is, uh, it as um, 灰, 灰色 means grey, not, err, red. Humans see it as red because they are using a red cloth, but the cow itself doesn't see it as red.	えー、彼は闘牛の牛に言及しました。えー、布切れを使って、えー赤い布切れですが、先生、いえ、教授が言うところによれば、牛は、えー赤ではなく灰、灰色として、それは灰色の意味ですが、として見えていると言っています。人間は赤い布を使っているから赤として見えています、牛は赤としては見ていないと。		
51	我々が言う灰色に見えてて、赤で興奮しているのは人間らしいんですけども、っていうふうに、どうも違う、見えかたが違う、らしいと	So he, he is explaining that it seems that err, the colors which humans and animals sees are different.	えー彼、彼は人間と動物が見ている色は違うようだと説明しています。		
52				さっきはどうして牛の話をしたんでしょうか。	
53		Um, I think that umm, so, we are talking about colors now, and he is referring to animals related to a color that we see, and we see it as red but actually, the animal itself doesn't see it as red so, maybe he is referring to something different here, the, the different from animals and humans. Like, like an example so he is giving.	うーん、私が思うに、えー、今、色の話をしていて、彼は私たちが見る色に関連して動物に言及していて。私たちは赤として見るけれども実は動物自体は赤としては見ていないので、たぶん彼はここぞでなにか違うこと、動物と人間の違いに言及しているのでは。例として挙げている。		
54	いうことはわかってるんですね。えーちなみにですね、ここはなんだか知ってますか。	So, he is asking the audience err, about the top err, top point of that line about eight thousand seven hundred angstrom. So he drew err, circle and asking err, like whether the students or the audience know what it is.	えー、彼は聴衆に線の一番上の、えー、8700オングストロームの箇所について尋ねています。えー彼は学生または聴衆にそれがなんなのかを知っているかを尋ねながら、丸を書きました。		
55	この一番、見えるのの一番上ってここなに、何色かわかります？	He is asking err the audience again err, about the maximum point of err, vision err, is err in which color or what color it is?	彼はまた、えー、聴衆に聞きました。えー、視覚の上限はどちらの色、というかなに色なのかについて。		
56	えっとですね、ここはですね、なんて言うかっていうと、UV。	He, he is err, giving the aswer for his own question so he is err, thinking a little bit and giving the answer by himself, as UV.	彼は、えー、自分自身がした質問に対して答えを与えています。えー彼は、えー少し考えて、UVという答えを自分自身で示しました。		

57	UVっていうのはこれ、ウルトラバイオレット。バイオレットを越してる。	So he again explain what is, err, what this UV is. UV stands for ultraviolet and violet, he says that, violet, it's err, maximum.	えー彼はまたこのUVがなんなのかを説明しています。UVというのはウルトラバイオレットの略で、バイオレットというのは、バイオレットは上限だと彼は言いました。		
58				先生が手を上にあげているジェスチャーはどういう意味かわかりますか。	
59		So that g, gesture in Japanese or maybe in other languages still, err, people use that err, raising hand is to denote or show it's maximum, the highest level.	えー、この身振りは日本語で、おそらく他言語であっても、えー、人々は使います、えー、人が手をあげるということは上限、一番上のレベルだということを示す、というか表しています。		
60				最高値というのは、先生の日本語でわかったのか、それともジェスチャーでわかりましたか。	
61		Err, I understood from the board, he used the word as well as the hand signal that he raises his hand so I understood that he's talking about something maximum.	えー、板書でわかりました。手を上にあげるという手振りとともに彼は言葉を使いました。ですから私はなにか上限について話しているのだと理解しました。		
62				先生が話した日本語も、前に聞いたことがあったんですね。	
63		Um, I, I'm not pretty sure about that but according to the context here that we are talking and he is talking, he was talking about the maximum point of colors and he talk about ultra violet, and he used his hand too, so I think that err, here, in the context I understood err, as a new word err, that, that word refers to something maximum.	うーん、そうといえるかわかりませんが、私たちが、いえ、彼が色の限界点と紫外線について話しているというこの部分の文脈によれば、彼は手振りも使っていましたし、ですから、この文脈では、新しい言葉は、なにか上限に関係していると理解しました。		
64	紫外線ですね。ここ紫外線ってことは我々ギリギリで見えてるのは、ここ、み、一番細かい振動がこれ、紫。	Err, he used a word called シンカイセン. I don't know what it is, err but he also said that err, the point which we can see at its maximum is err at the level of eight thousand seven hundred err, which he has drawn the line and he also err, is writing a word 紫. 紫 means purple which is related to violet here, he said that err, UV is the maximum. Err.	えー、彼は「シンカイセン」という言葉を使いました。それがなにかはわかりませんが、えー、しかし、彼はこうも言っていました。えー、私たちが見ることのできる上限は、えー、8700、それは彼が線を書いたところで、「紫」という言葉も書いています。「紫」というのは紫の意味でバイオレットに関係しています。彼はUVというのは上限であると言っています。えー。		協力者の発話のシンカイセンは紫外線のことを指していると思われる。
65				UVIはどういう意味か知っていますか。	
66		Yeah, it's a ray, ultraviolet rays.	はい、それは光線です。ウルトラバイオレットという光線です。		
67	一番下、じゃこれは。ここはなんだかわかりますか。	He's asking the audience the least or the lowest err, point err, which he has drawn a circle near the line, three thousand seven hundred angstrom. He is asking whether the audience know what it is.	彼は聴衆に線付近に丸を描いた最小、というか、一番低い点、3700 オームストロームについて聞いています。彼は聴衆にこれがなにかを聞いています。		
68	ここが紫外線なんだから、こっちは、赤外線。IRですよ。	He is giving a comparison between, I'm not pretty sure about the word which I'm using, going to use like, he uses シン, シンガイセン, and サンカイセン, I, I'm not sure about that but here the least point is IR, err, uh, he, he, he says the least point is IR.	彼は比較をしています。私が使っている、これから使う言葉についてあまり確信が持てないのですが。彼は「シン、シンガイセン」と「サンカイセン」という言葉を使っています。確信が持てませんが、ここでは最小値はIR、えー、彼、彼は最小を示す点はIRであると言っています。		協力者の発話のシンガイセンは紫外線、サンカイセンは赤外線のことを指していると思われる。
69				今2つの言葉がわからないということでしたが、どんなものか、だいたい想像できますか。	

70		Alright, so here the context is, the context that we are talking is about vision so according um, for the human eye, the, for the human eye, err, there's err, the maximum and least point that we can see so, it's the vision so the vision err, related to UV, it comes as rays like, and here, in IR means infrared that is ultraviolet err, mm, so, this is something related to color and human vision.	はい、えー、ここでの文脈は、これから私たちが話す文脈というのは、視覚についてで、えー、聞くところによれば、えー、人間の目に、人間の目には見ることができる最大点と最小点があり、これは視覚です。で、視覚はUVに関連していて、光線として発されていて、そしてここでは、IRというのはインフラレッド、それはウルトラバイオレットですが、えー、うーん、なににか色や人間の視覚に関係していると思います。		
71	えーと、ここが赤なんですわね。一番振動が低いの。	Um, she, he again used the word シンドー, err, so, he said that the lowest point err, the, or the lowest color, no, lowest point, that he, that a human can see is red.	うーん、また「シンドー」という言葉を使いました。えー、彼、いえ、人間が見ることができる最小点、えー、一番低い色、いえ、低い点、というのは赤だと言いました。		
72	その外はIR。インフラレッド。	He is giving the, err, word, which stands for IR which is infrared.	彼はインフラレッドという、IRと略される言葉を提示しました。		
73	えー、レッドの下、インフラって下って意味ですからインフラレッド。これはウルトラ、越えてるっていうことですね。バイオレットを越えてるからUV、こっちはIR、	Err, so he is err, explaining further about infrared and err, UV. So he says that R stands for red and I stands for infra, so infra in English means below the, or the least and UV is err, ultraviolet. Violet means a color which is related to, like the the violet color, and ultra means err about or its maximum.	えー、彼はインフラレッドとえー、UVについてさらに説明をしています。えー彼はRは赤、Iは英語では下とか最小という意味のインフラである。そしてUVはultra violetであると言いました。バイオレットというのは色のことで、すみれ色に関連していて、ウルトラというのはほぼ最大とか最大という意味です。		
74	我々はIRもUVも色としては見えないですよな。	So he says that err, 我々 means us, ourselves, err, can't see UV and IR as a color.	えー彼は私たち、私たち自身という意味の「我々」という言葉を使い、「我々」はUVとIRを色として見るができないと言っています。		
75	だから、あの一、今日はUV指数が4ですとか3とかっていうのを聞いて、あ今日はUVが多いんだってわかるけど、直接我々は見えない、	So he is explaining further about the UV and IR err, words, so he says that err, we can't directly see UV. If we hear that today's UV ray or the UV, mmm, the UV radiation is like at four, we we then only we understand that alright okay that today's UV rays are at four but we can't directly see the UV rays or the color as it is.	えー彼はUVとIRという言葉についてさらに説明をしています。彼はUVを私たちは直接見ることができないと言っています。もし今日のUV光線、いえUV、うーんUV放射が4であると聞いたら、あー今日のUV光線は4だったんだと理解できますが、UV光線または色をそのまま直接私たちは見ることはできません。		
76	っていうように、どうも犬ですけどね、この我々が紫に見えているのは、たとえば見えなくて赤も見えなくて、その間しか見えないんで、	So he is referring back to the dog, so err, what we see as red and purple so the dog doesn't see it as it is.	えー彼はもう一度犬の話に戻り、えー、私たちが赤と紫に見えるものは犬はそうには見えないという話をしています。		
77	木の色、木を見るとですね、灰色に見える。	So he says err, when they, when err, when the dog see the tree, they see it as grey.	えー彼は彼ら、えー犬が木を見ると、灰色として見ていていると言っています。		
78	そうすると我々は、あー、この犬ってかわいそうだな、本当は木はみどりののに灰色にしか見えないんだって、	So at that point, people or the humans feel sympathize the dog err, thinking that err, oh, like, feeling sorry for the dog that err, it can't see the green tree as green but it sees the tree as grey so people or humans sympathize the dog.	えーそのとき、人々とか人間は犬に同情します。みどりの木がみどりに見えず、灰色として見ているのはかわいそうだ、と思いながら。ですから、人々とか人間は犬に同情します。		
79				最初茶色と言っていたんですが、途中で灰色と気がついたのは、先生のパワーポイントなどで気づいたんですか。	
80		Yeah, like er, it was the second time which I heard the word at that point, er, the first time I, I, I can't remember I said it as brown, but the second time I, err, it came to my mind 灰色 means not brown, err, 灰色 means er, grey or ash, something like that. So at the second point only, I, mmm, understood or realised that the word 灰色 is not brown.	はい、あのとき、私がその言葉を聞いたのは2回目でした。えー、1回目、茶色といったことをわた、わたしは覚えていませんが、2回目は、えー、「灰色」が茶色ではなく、灰色、灰、そんなことだというのが思い浮かびました。ですから2回目のときだけ、うーん、「灰色」という言葉は茶色ではないということを理解したというか、気がつきました。		
81	まあ普通思うわけですよな。	He is telling that he, err, like normally people err, tend to think like that.	彼は言っています、えー、彼は普通、というか人々はそのように考える傾向がある、と。		

82	で、なるほど。	なるほど in Japanese means oh that is exactly, oh, oh that is some, uh, that is it.	日本語で「なるほど」はまさにそうだ、とか、それはなにか、あっそれだ、という意味です。		
83	でさっきのこう、静かなんで、我々は、あーかわいそうって、このボチには灰色にしか見えないのか、みどりで静かでいいのになあと。	Like people think that it is er, like err, referring back to the picture and his talk about he is going to er, place where, full of greeneries, err, people think that the trees, err, referring to the trees, it is green, but people always sympathize err, about pets, especially this ボチ means the dog err, dogs see the color green as grey.	えー人々は考えます。えー、絵に話が戻って、彼は彼がみどり豊かな場所に行くということ話をしています。えー人々は木の話、木はみどりであるという話をしているわけですが、人々はいつもベットに同情しています。特にこの「ボチ」、というのは犬のことですけれども、犬はみどり色が灰色に見えるということに同情しています。		
84				木がみどり以外に、木についてなにか言っていましたか。	
85		Yeah he was err, talking about err, calm, err, like calm and quiet and greenery.	はい、彼はえー、落ちつくとか、えー、落ちつくとか、静か、とかみどりの、えー、話をしています。		
86	ところがですね、ボチはですね、なんか高原はうるさいとか、言いはじめるんですね。	Err, by the way, for the dogs, dogs thinks that, err, think that コーゲン is noisy.	えーところで、犬にとって、犬は「コーゲン」はうるさいとおも、思っています。		
87	えっ、静かなのって言うと、	So he is err, giving uh, confused face and says err, it is calm but why the err, dogs think it is noisy.	えー彼は戸惑った顔をして、ここは落ちついているのにどうして犬はうるさいと思うのだろうと言っています。		
88	犬笛ってご存知ですか、あの、こういうなんか笛があつてですね、人間には聞こえないけど犬だけに聞こえるっていうそういう笛が存在してる。	Uh, he is asking the audience, err, whether they know about a whistle he has drawn it on the board, err, people can't hear the whistle but animals do.	あ、彼は聴衆に聞いています。えー、彼がボードに書いた笛を知っているか、と。人々は笛が聞こえませんが、動物は聞こえます。		
89	でこれをここで吹くと、人間はなんにも聞こえないけど、犬にはキャンキャンキャン聞こえる。	Err, when I blow the whistle here, people don't err, realise it at all. But err, when err, when I blow the whistle here, if there's a dog or an animal, they will start barking.	えー、もし私がここで笛を吹いたら、人々はえー、まったく気がつきません。でも、えー、ここで笛を吹いたとして、犬かなにか動物がいたら、吠えだすでしょう。		
90	で、この高原で間違ってますね、子どもかなんかが犬笛を拾ってますね、これでピーピーピーやってたとする。	Err, by mistake or by chance, if err, child err, finds this whistle and starts blowing it err, in コーゲン, I, I still don't know the meaning of コーゲン but it maybe like something like a park or maybe eh, so if by chance, or by mistake, if a child finds this whistle and blows it,	えー、誤って、またはたまたま、もし、えー、子どもがこの笛を見つけて、「コーゲン」で吹きだしたら、えー、私、私はまだ「コーゲン」の意味がわからないのですが、でも、それはおそらく公園のようなものかたぶん、えーそれでたまたま、または誤って、もし子どもが笛を見つけて、吹いてみたら、		
91	そうすると、私は、高原はみどりで静かなんですけど、ワンちゃんにとっでは、高原はやかましくて灰色なんですよ。	For me, err, according to this professor, コーゲン is a place where it is very calm and quiet and full of greenery, but for animals especially here, for dogs, it is a place where it is very, he used the word called やかましくて, I really don't know but maybe it is something like related to the noise, noisy, and, noisy and grey, grey place.	私にとっては、えーこの教授によれば、「コーゲン」はとても落ちついていて静かでみどり豊かな場所です。でも動物、特にここでは犬ですが、にとっでは、とても、彼が使った言葉は「やかましくて」、本当にわかりませんが、なにか音、うるさいということに関係しているかもしれない。そして、うるさくて、灰色、灰色の場所です。		
92				やかましいという言葉がわからないということだったんですが、うるさいと推測してくれたのは、前後の文脈からでしょうか、それとも音などから推測してくれたんでしょうか。	
93		Err, yeah, I didn't know the meaning of what やかましい but what we were talking so far, a little while ago, he said that err, when we blow the whistle err, only the animals can hear it, but the people can't, humans can't hear it. So I thought that やかましい is something related to the previous talk, that he was mentioning about the sound, err which the animals only can hear. Err, so I assume it as noisy.	えー、はい、私は「やかましい」の意味を知りませんでしたが、今まで私たちが話したこと、少し前ですが、彼はえー、私たちが笛を吹いたとき、えー、動物だけがそれを聞き取ることができ、人々は聞き取れません、人間は聞き取れないと言いました。ですから「やかましい」というのは彼が動物だけが聞き取れる音について話していた前の話と関係があると思います。えー、ですから、うるさいということなのかなと推測しました。		

94	どっちが本当の世界を見てるってことになるでしょうか。	He is err, wondering whether, err, which of us here maybe err, according to what I think, is, related err, referring to humans and animals, err, so which of us are seeing the real world?	彼はえー、ここで私たちのどちらなのかと考えていて、私の考えによれば、人間と動物に関連し、言及していて、えー、私たちのどちらが本当の世界を見ているのかを考えています。		
95	これあのさっきも言いましたけど、この可視光線が我々人間にとって見える範囲はこのぐらいで、で外は赤外線と紫外線、こっち高いほうですね。	So he is referring to a chart, err a diagram, on the screen, so he again used the word セキガイセン, and the other, I couldn't err, err, take in, err, listen to it, err properly, so he is err, talking about the range that we can see.	えー彼はスクリーンの図表、図に言及し、再び「セキガイセン」という言葉を使いました。そしてもう一方で、私は、えー、きちんと理解できず、えー、聞き取れなかったんですが、えー、彼は、えー私たちが見ることのできる範囲について話しています。		
96	ところがあの、ミツバチとかいうのは、どうもえーと紫外線だったかな、	So, he's errr, asking by the way, err, he used a word ミツバチ, I heard it like ミツバチ, I don't know the meaning of that, er, so he asked the audience whether that particular word is err, that particular word fits to which place? Yeah, which place on the diagram, yeah.	彼は聞いています、ところで、えー、「ミツバチ」という言葉を使って、私、私には「ミツバチ」というように聞こえたんですが、その意味はわかりません。えー彼は聴衆にその言葉がえーどこに当てはまるのかを聞いています。図のどこに当てはまるのかです、はい。		
97	が見えるらしくて、あのお花がこう咲いてますよね。それで我々にとってはおんなじ色にしか見えないのに、こっちなんか熟してくると、し、紫外線かなんか出すらしいんですね。	Err, this part was really difficult for me, but he is talking about flowers, err, ミツバチ, err, like, err, he, he, he is talking about two flowers and comparing them? And he, he uses two hands to like show that they're flowers. Two flowers, and he talks about one flower err, and the maybe I assume it as when we zoom it, it moves, the flower might be moving or like, giving a vibration or like movement?	えーこの箇所は私にとっても難しいですが、花、えー「ミツバチ」について話していて、なんというか、彼、彼、彼は2輪の花について話していて、比較をしているのでしょうか。そして、彼、彼は両手で花の形を作って見せました。えーそしておそらく拡大すると、それは揺れるとか、振動する、動くのかなと推測します。		
98	そうするとそれを自当てにミツバチかなんかはそっちにひゅつと行くんですよ。我々にとってはおんなじ色、おんなじにしか見えてないのが、たとえば紫外線が見えるという、赤外線が見えるとなると、別の色に見える、	Ok err, now I know the word err, for ミツバチ meaning, ミツバチ maybe a bee? Talking about a bee? Err, so, he was referring to two flowers so we can't see flowers giving a movement to our naked eye but err, for insects maybe for like bees, they go to the flower, which is like moving or giving a movement.	はい、えー、今「ミツバチ」という言葉の意味がわかりました。「ミツバチ」はおそらくハチの意味でしょうか。ハチの話をしているのでしょうか。えー彼は2輪の花に言及していて、私たちの裸眼では揺れは見えませんが、虫には、おそらく、例えばハチは、揺れている、動いている花のところにいきます。		
99				人間にはその動きは見えないということでしょうか。	
100		Yeah, he, err, he makes it sure that people like humans can't see the movement err, in flowers like the err, like the slight movement err, so we see in, uh, we see all the flowers here, according to him, all the flowers the same but for animals or insects it may be different, so they can see the tiniest bit of the change in the flower.	はい、人々、というか人間は花の揺れ、かすかな揺れを見ることができず、彼によれば、すべての花は同じように見えるけれども、動物や虫にはおそらく違うように見えていて、花のほんのわずかな変化も見ることができる、ということを彼は確認しています。		
101				ミツバチについて、最初わからなかったのに、なぜ蜂だとわかったのはなぜですか。	
102		Err, I have heard the word before, but err, here, err, the first time he used err, the word was with the diagram on the screen so there, I, I didn't think that it, he was talking about a bee but when he came with the example of flowers, then only I understood, ah ok, he's going to, err, he is talking about this bee. So I had heard it, and I knew that word but err, when he referred it to the chart on the screen, I didn't think that he was talking about the exact thing that I knew. So with the flower example, I thought that ok, that, that is the word which I knew already.	えー、前に言葉を聞いたことはありましたが、えー、最初彼がその言葉を使ったとき、言葉はスクリーンの図と一緒に使われたため、私は彼が蜂の話をしているとは思いませんでしたが、花の例について話し始めたとき、あーはい、彼はこれから、彼はこの蜂の話をするのだと理解しました。ですから、私はこれを聞いたことがありましたが、言葉も知っていましたが、スクリーンの図に言及したとき、私が知っているまさにそのことを話しているとは思いませんでした。ですから、花の例であーそうか、これは私がすでに知っている言葉だと思いました。		
103				じゃあミツバチという音は前もって知っていたということでしょうか。	
104		Yeah, like err, from the word itself, ミツ means the nectar and バチ means the bee. So honeybee maybe?	はい、言葉自体から、「ミツ」は蜜、「バチ」は蜂、ですからおそらくミツバチでしょうか。		

105	ってことになるわけですね。そうすると、うん？我々は自分で見てる世界が、世界そのものだと思ってるわけだけど、	So here, he is err, asking err, the audience in a doubtful way so as we think as humans, we realize and we understand the world as it is, like, according to what we see as the world.	えーここで彼は、えー、聴衆に懐疑的に聞いています。えー、人間として考えるに、私たちは、自分たちが世界として見たことに照らして、世界そのものであると認識し、理解している、と。		
106	もしかしたら、我々の制限や我々の都合によって世界が、みどりに見えたり、静かだったりしてんじゃないの？みたいな、	Here, err, he is asking if err, whether the world that we see is according to the situation, or he uses he used a word called セーゲン, err, I think it's セーゲン, I don't know its meaning, but he use, he is err, doubtfully, asking whether like what we see as the world is according to the situation that we encounter in our lives? Or according to the セーゲン that he mentioned here.	ここでは、えー、彼は私たちが見ている世界というのは私たちの状況によるものなのかを問うています。あるいは、彼は、えー、「セーゲン」という言葉を使いました。たぶん「セーゲン」だと思いますが、この意味はわかりません。ですが、彼はえー、懐疑的に私たちが世界として見ているものは私たちが人生で遭遇する状況によるものではないかと問うている？または彼がここで言及している「セーゲン」によるもの。		
107				具体的に世界がどう見えているかというのは、先生はなにか話しましたか。	
108		Yeah he, um, I'm not sure whether it's example or not, but he said according to the situation, or the according to the events that we encounter in our lives.	はい、彼は、うーん、これが例なのかわかりませんが、彼は状況により、または私たちが人生で遭遇する出来事によると言っています。		
109	感じがしてきますよね。で、ここにですね、宇宙から、あのたとえば、えー、火星人がやってきたりする。	So, he is referring to an alien, err, where, err, if err, he assumes like he's err, he err, he is assuming if an alien from space comes here?	えー、彼は宇宙人に言及していて、えー、どこ、えー、もし、彼は、えー、彼は、えー、彼は宇宙人が宇宙からここに来ることを想定、想定しているのでしょか。		
110				宇宙人という単語は聞いたことがありましたか。	
111		Yeah I, I, I knew it, I knew the word.	はい、知っていました。その言葉は知っていました。		
112				先生が黒板に描いている絵はどういう意味かわかりますか。	
113		Yeah he's err, drawing an alien?	はい、彼はえー、宇宙人を描いていますね？		
114	ちよつと毛が生えてるかも。	Oh, he is smiling and he drew a picture of an alien and at last he says maybe he maybe that particular alien might have hair too so he has drawn three hairs on top.	あー、彼は笑っていて、宇宙人の絵を描きました。最後に彼はもしかして、この特定の宇宙人はもしかして毛も生えているかもしれないと言い、上に3本の毛を描きました。		
115	で地球にやってくると、うー地球は、あの、眩しいねとかっていうふうに言う。	So he says err, if that particular alien comes to 地球 means the Earth, err, he might think that particular alien might think that the Earth is pathetic. Pathetic.	えー、彼はこの特定の宇宙人がもし「地球」に来たら、「地球」というのはEarthの意味ですが、この特定の宇宙人は地球は貧しいと思うかもしれない、と言いました。		
116				貧しいという言葉は、先生の発言の音から推測したんですか。	
117		Err, no, 貧しい I, I have heard the word and I sometimes, I might know the meaning like as pathetic I can remember it as pathetic, so, err, his gestures or the sound of the word he used, it was not the thing which understood the context so I already knew the word.	えー、違います、「貧しい」、この言葉を私、私は聞いたことがあり、ときどき、衰れなという意味かもしれないと、衰れなという意として覚えているのですが、えー、彼の身振りと言った言葉の音は私が文脈を理解したことではなく、その言葉をすでに知っていました。		

118				宇宙人などの言葉から推測したのでもないということですね。	
119		Uhh, not actually but err, to understand it like that, somewhere in my mind, I I might think like err, talks like this have some idea like, if err, alien comes to you, like from our childhood like, if an alien comes to the Earth that alien might think different about err, so, maybe that idea was there in my mind and I interpreted it like that.	あー、実は違います、でも、えーそのように理解するなら、このような話はなんというか、もしあなたがどこかに宇宙人が来たら、もし宇宙人が地球に来たら、宇宙人は違うように考えるのではないかと子供のころからの考えが心のどこかにあったかもしれません。ですから、たぶんそのような考えが私の心にある、そのように解釈したのかもしれません。		
120	この、まあもしかしたらこの宇宙人は、紫外線と赤外線が色として見える生物だ。	Sometimes, this alien could see the mmm, シガイセン and I'm sorry I forgot I, I couldn't take the last uh, next word, there, there were two on the top and the least one err, that alien might see the two extremes as colors.	ときどき、この宇宙人は「シガイセン」を見ることができ、そして、すみません、忘れました。最後の、あ、次の言葉が聞き取れなかったのですが、2つあって、一番上と一番下、えー、この宇宙人はその2つの両極を色として見えるのかもしれません。		
121	と仮定しましょう。まあそういうことは不可能じゃないので。	So he, he says that it is impossible uh, it is not impossible for the alien to see it like that.	えー彼、彼はそれは不可能、いえ、宇宙人にとってそのように見ることは不可能ではない、と言っています。		
122	ま、火星人がいるってこと自体のほうが可能ですけども、	He is um, using a word called カセー人, I don't know the word, err about that, カセー人がある err, means maybe there could, there might be a カセー人?	彼は、うーん、「カセー人」という言葉を使いましたが、この言葉を知りません。えー、このことについてですが、「カセー人がある」えー、意味はおそらく、「カセー人」がいるかもしれないということでしょうか。		
123				わからないということですが、火星人がどんなものか想像できますか。	
124		Mmm, カセー人 is maybe something similar to aliens? I'm not sure. Yeah.	うーん、「カセー人」はたぶん宇宙人に似たなにかでしょうか。よくわかりません。はい。		
125				それは音からではなく、文脈から推測してくれたんですか。	
126		Uhh, yeah, it it was a board, it was from the board, from the context err, so we are going, we are talking about aliens, so outsiders, and カセー人 maybe 人 is a person, カ、カ maybe outside? セー means maybe world? Outside world person? So, I, I I think, I thought it like that. Outsider?	あー、はい。それはボード、ボードからです。文脈からはえー、宇宙人について話していて、よそ者ということですが、「カセー人」はおそらく、「人」は人、「カ、カ」はたぶん外? 「セー」はたぶん世界? 外の世界の人? ですから、私、私、私はそのように考えました。よそ者?		
127	まあ、あの火星人があの、見ると、火星人がですね、IRも見える。そうするとですね、まず地球に来て言うことは、	So, he wrote err, some kanji, which err, you know what's for, カセー人? So, for カセー人, it is err, possible to see the to see both the extremes.	えー、彼はいくつか漢字を書きました。「カセー人」を示しているのでしょうか。えー「カセー人」、これは両極を見ることが可能であるということでしょうか。		
128				黒板の字を見て、最初の推測は変わりましたか。	
129		Err, it, it, it has changed because I, I, I'm really not good in kanji but I thought that カ means err, 外, the out, outside, but here it's fire, and ミテ, err, kanji? And セー人 is ok but the first two kanji is different from which what I thought.	えー、変わりました、なぜかという、漢字はあまり得意ではないのですが、「カ」はえー、「外」、外という意味だと思いましたが、ここでは火で、ミテ、err、kanji? And セー人 is ok but the first two kanji is different from which what I thought.		協力者は漢字の「星」を「道」と読み違えたものと思われる。
130				でも宇宙人の一種だという推測は変わりませんか。	

131		Um, no, aliens, the idea of the alien kind is also changed here, because, he some err, he talked about the colors, err the two extremes in colors, so I'm not pretty sure about err, whether he is talking about an outsider like err, another type of alien or not.	うーん、いえ、宇宙人、宇宙人の一種だという考えもここで変わりました。なぜかというと、彼は、えー、色、色の両極の話をしていて、えー彼がよそ者、えー別の種類の宇宙人の話をしているのかどうかはよくわかりません。		
132	都市はもうIRでもう眩しくしょうがないよーとかって。それはどういうことかって言うと、たとえば自動ドアってありますよね、こう前に立つとすっつと開くやつ。あれはIRをいつも飛ばしてるわけですね。	So he's err, talking about this カセー人 again, and here he's err telling that if this カセー人 sees IR, err, he might think that it's マブシー、マブシー means err, it's difficult and err, pathetic? Err, so he's referring to he is giving an example about this, err, automated doors, so in this automated doors, err, there's always being err, radiation emitted out of it.	えー彼はこの「カセー人」について再び話しています。そして彼はこの「カセー人」がIRが見えるのか話しています。彼はそれは「マブシー」かもしれないと思っています。「マブシー」というのは難しい、とか惨めだという意味でしょうか。えー、このことについて例を挙げていて、この自動ドア、えー、この自動ドアは放射していて、常にそれを感じているということに言及しています。		
133	それで人間がそこ行くとそれを遮るんで、それを感じて開く。	So err, he probably explains about the example that he said about the automated doors err, in which uses infrared err, radiation, so when a person goes in front of the door, it, the rays detects the hu, human and then only the automated door opens.	えー、えー、彼は例について説明していて、自動ドアについて話しています。赤外線を使っていて、放射線ですが、えー、ドアの前に行くと、その光線がこん、人間を感じて、それに伴ってのみ、自動ドアが開く、と。		
134	我々はIR、つまり赤外線が色として見えないんで、	Err, for us, as humans, we cannot see IR, err, 赤外線, he used the word 赤外線 err, I don't know the meaning of that err, I, I mean I don't know how I interpret that in English err, wait, I forgot err, yeah, for humans, we can't see IR.	えー、私たち人間にとっては、IRは見ることができません。えー、「赤外線」、彼は「赤外線」という言葉を使いましたが、意味はわかりません、えー、というのは英語でどう解釈すればよいかわからないということです。えー待ってください、忘れまして。えー、あー、そうです、人間には、私たちはIRを見ることはできません。		
135				赤外線がわからないということでしたが、だいたいどんな意味が想像できますか。	
136		Err, yeah like we were talking about so many things but I, I think it's one of them err, it's something like err, radiation? Yeah.	えー、はい、とてもたくさんのお話をしていますが、その中の1つのことだと思います。放射線のようなにか、でしょうか。はい。		
137	全然眩しくもなんでもないですけど、それ色として見えてる人、うわ、眩しい、	Um, so humans, we don't see it so it's not difficult or err, it, it doesn't matter for humans but if, if err, there's a person or if there's a thing which can see that, it will be difficult for them.	えー、人間は、見ることができないので難しい、というか人間にとっては問題ではないですが、もし、えー、それを見る人がいたら、または物体が存在したら、彼らにとってはそれは難しいことでしょう。		
138	もう、あの昔よくあの、怪盗ルパンとかなんか映画ですね、こう、宝石があつてですね、そこにこう、センサーがビーっとなつてそれをくぐりぬけながら、こう盗むっていうのがありましたけど、	So he is referring to the old days, 昔 means err, past? Err, so in fi, uh, films, err, referring to a 宝石 means gem and to protect the gem, they may be some radiations uh, and to steal that, to take that hmm, gem, errrrr, the person who is trying to steal is uh, steal it is avoiding the rays and taking out the gem.	えー昔の日々に言及しています。「昔」というのは過去？えー、えい、あ、映画の中の、えー「宝石」に言及していますが、宝石の意味です。宝石を守るために、放射線があつて、それを盗むためには、盗るためには、うーん、盗もうとする人は、あ、光線避けて、宝石を盗ります。		
139				宝石と映画はなにか関係がありますか。	
140		Yeah, yeah, he is talking about a film that he has watched and in that film only, there, there, there's the gem and somebody is trying to steal it and there he used, he refers to the rays which was used to protect the gem.	はい、彼は彼が見た映画について話しています。そしてその映画の中だけにおいて、そこ、そこには宝石があり、誰かがそれを盗もうとした、と。彼はそこで使い、言及しました。宝石を守るために使われる光線に。		
141	赤外線とか紫外線が見えればそれが可能になるわけですけども、まあ我々は見えない。だけど、	So he's eh, he says that if you could say err, see the two extremes, err, it was possible to like referring to the previous example about the gem, it was possible to take out the gem easily but err, we can't see it.	えー、彼は言っています。先ほどの宝石の例に照らすと、もし両極が見えたら、宝石を盗ることは容易だ、しかし、えー私たちは見えない、と。		
142	その、火星人には見えると。すると眩しい。	So he says that for カセー人, it is possible to see the, see it . A, a, and it is マブシー means it may be difficult to see it.	えー、「カセー人」にとっては、それを見る、見るができると言っています。そし、そし、そしてそれは「マブシー」、つまり見るのが難しいかもしれないという意味です。		
143	それから、とんでもないこと言うかもしれない。地球が美しいのはあのUV焼けが、	So, he, he, he's telling the audience eh, that he might say something not good とんでもないこと, means it is not suitable or not good to say but I'm gonna say it.	えー、彼、彼、彼は聴衆に言っています。えー、彼はこれから「とんでもないこと」、あまりよくないことを言う、と。「とんでもないこと」は言うのが不適切、よくないという意味ですが、でも私はこれから言います、と。		

144				言うのはだれですか。	
145		Eh, yeah the professor is going to say to the audience. He a, also said err, that 地球 eh, 地球 means the Earth, is beautiful?	えーはい、教授が聴衆にこれから言います。彼はこうも言いました。「地球」、「地球」は地球の意味ですが、「地球」は美しい、と。		
146	午前11時ごろのUV焼けが、ものすごい地球はきれいだよね、とか。	[6秒間無言。]夕焼け is the, the sun rising down, and the rays or the brightness from the sun is ものすごく means extremely beautiful?	[6秒間無言。]「夕焼け」は太陽が昇って沈むこと、そして光線、というか太陽からの明るさが「ものすごく」はとても、という意味ですが、それがものすごく美しい？		
147	。はあ？みたいな。そ、UV焼けてなんだ、ほらあの東の空になんかほらUV色のさ、虹みたいなのがかかるじゃん、だいたい晴れてる日は11時ごろに午前とか。	He is talking about UVヤケ, maybe err, ヤケ means U, UV means u, ultraviolet, the rays err, the, mmm, the vision or the scenery of UV rays is err, very much visible and I couldn't err, listen the other latter part, I could only err, like listen to the 夕焼け part yeah.	彼は「UVヤケ」について話しています。たぶん、えー、「ヤケ」の意味は、UVはウルトラバイオレットの意味、光線、えーうーん、視界というかUV光線の景色が、えー、とてもよく見えて、ほかの、後半部分が聞き取れなかったのですが、えー、聞き取れたのは「夕焼け」という部分だけです、はい。		
148				UV焼けについて話していたのはだれですか。	
149		Yeah, he was talk, err, like talking about somebody else which was the, maybe the カセー人, that he referred to in the past?	はい、彼はだれか違う人について話しています。おそらく前に言及していた「カセー人」でしょうか。		
150	はあ？みたいな。地球にあるのは夕焼けだけです。	Err, he also used err, another onomatopoeia, はあ？ means like confused and err, he says that 地球, 地球 means Earth, Earth only has the sun rising down scenery.	彼は別のオノマトペ「はあ？」も使いました。「はあ？」というのは戸惑っているというような意味ですが、「地球」は地球の意味で、地球は太陽が昇り沈む光景しかないと言いました。		
151				はあ？と言ったのはだれですか。	
152		Err, according to what I understood, is like it may be from professor and all the humans?	えー、私が理解したところによれば、おそらく教授、そしてすべての人間でしょうか。		
153	朝焼けもたまにあるけど夕焼けしかなくて、それはそのオレンジです、みたいな。	Err, there's the アサヤケ, err, I really don't know the meaning, but I assume it as the sun rising? And of course, there is err, the other one, as sun err, going down, err, so that is the only two things in the Earth.	えー「アサヤケ」があります、えー、意味が本当にわかりませんが、日が昇るということでしょうか。そしてもちろん、もう1つのものもあります。つまり、太陽が、えー、沈む、えー、ですから、地球にはその2つだけがある、と。		
154				そのとき先生はなにか色について言っていましたか。	
155		Yeah, yeah he used the color orange.	はい、はい、彼はオレンジという色を使いました。		

156	我々が火星人に言うと、火星人は、あ、かわいそうに、地球人にはあの美しいUV焼けが見えないのか、	So he is referring to err, the カセー人, and humans, so he's err, like assuming like we have a conversation with err, the カセー人, and if err, we say like, he says that the カセー人 might be pathetic, uh, sympathizing us or feeling sorry for us err, thinking that err, knowing that we can't see the UVヤケ? Err, the which it can see but as for human naked eye we can, we cannot see. So, the カセー人 is uh, feeling sorry for humans.	えー、彼は「カセー人」に言及しています。そして彼は、人間、えー、なんというか、私たちが「カセー人」と会話をするということを想定しています。そして、もし、えー私たちが言ったら、「UVヤケ」、つまり、えー、彼らは見られるけれども人間の裸眼では見られないもの、を私たちが見られないと知ったら、えー、「カセー人」が私たちを惨め、いえ、同情、かわいそうだと思うかもしれない、と彼は言っています。ですから、「カセー人」はえー、人間に同情しています。		
157				先生はこの火星人との会話でなにを言いたいと思いますか。	
158		Err, yeah, so from the beginning we were talking about the colors so for humans, it is not the exact color or exact err, maximum that we can see err, but for aliens, and the so called カセー人, might see more than humans. So he was talking related to colors and its, its and its extremes?	えー、はい。冒頭から、私たちは色の話をしています。えー、人間にとつては、それは正確な色ではない、というか私たちが見られる上限ではない。えー、しかし宇宙人、そして「カセー人」と呼ばれるものには人間よりももっとも見えているかもしれません。ですから彼は色に関連すること、そしてその両極のことを話しています。		